

病虫害発生予察 4 月 月 報

4 月の気象表（長野地方気象台）

官 署		平均気温 ℃			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	9.5	10.9	12.1	14.0	19.0	12.5	60.2	64.4	82.8
	平年	8.3	10.6	12.8	19.9	17.5	16.6	66.7	62.8	68.7
松 本	本年	9.4	11.0	12.1	11.5	69.0	1.5	53.7	73.4	87.7
	平年	8.4	10.6	12.8	26.2	27.5	21.6	67.8	63.8	70.5
諏 訪	本年	8.2	9.8	10.8	18.0	73.5	2.0	54.5	74.1	83.8
	平年	7.7	9.9	12.0	29.9	32.8	24.5	67.0	64.1	70.4
軽井沢	本年	5.5	8.3	8.1	22.0	53.5	1.5	56.0	83.0	82.3
	平年	4.7	6.8	8.9	27.3	28.3	22.5	66.6	60.4	68.1
飯 田	本年	10.0	11.5	12.5	58.5	110.0	4.0	43.9	71.0	74.2
	平年	9.8	11.8	13.6	44.9	46.2	36.3	60.8	60.4	65.4

4 月は本州付近を低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。気温は平年並となったが、寒暖の差が大きくなった。降水量は上旬、中旬とも低気圧等の影響で曇りや雨の日が多くなったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。日照時間は平年並から多くなった。

1 麦

(1) 生育概況

農業試験場（須坂市）における大麦及び小麦の出穂期は、平年に比べて3日早かった。

第1表 麦の生育状況（須坂市：農業試験場作物部）

品種名	区分	幼穂形成期	茎立期	出穂期
ファイバースノウ (大麦)	平年	3/13	3/27	5/ 5
	前年	3/ 3	3/25	4/26
	本年	3/ 8	3/25	5/ 2
シラネコムギ (小麦)	平年	3/22	3/30	5/11
	前年	3/18	3/23	5/ 2
	本年	3/21	3/30	5/ 8

(2) 病虫害の発生状況

1) 小麦の土壤伝染性ウイルス病（コムギ縞萎縮病・萎縮病）

生産現場では発生地域を中心に耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われている。

本年は3月下旬頃から発病が確認され、地域（品種）等により発病の目立つほ場がみられた。

2 水 稲

(1) 病虫害の発生状況

1) 育苗期細菌性病害

全般に平年並の発生で推移している（5月8日現在）。

2) 苗立枯病

全般に平年並の発生で推移している（5月8日現在）。

3) イネミズゾウムシ（越冬世代成虫）

アメダスの気温データから計算した越冬地からの半数脱出推定時期は、一部地域を除き、平年並の予測となっている（5月14日現在）。

第2表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

	上田	諏訪	飯田	木曽福島	松本	長野
平 年	5/12	5/23	5/11	5/21	5/12	5/13
本 年	5/ 9	5/24	5/12	5/24	5/11	5/12

\*平成29年1月1日を起算日とし、5月14日までは本年のアメダスの気温データの実測値、半数脱出推定時期に達していない場合は5月14日以降の平年値で予測

\*平年の推定時期は、平成19～28年の10年間の実測値による推定時期の平均

3 りんご

(1) 生育概況

発芽期は平年より5～7日遅く、満開期は平年より1～2日遅かった。

第1表 りんごの生育状況（須坂市：果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
ふ じ	平年	3/31	4/13	4/28	5/ 2	5/ 8
	前年	3/28	4/ 7	4/20	4/24	4/30
	本年	4/ 7	4/16	4/30	5/ 4	5/ 9
シナノスイート	平年	3/31	4/15	4/28	5/ 3	5/ 9
	前年	3/28	4/ 6	4/21	4/24	4/30
	本年	4/ 5	4/13	4/29	5/ 4	5/10

ふじの平年は1981年から2010年の平均値

シナノスイートの平年値は1992年から2010年の平均値

(2) 病虫害の発生状況

#### 1) 黒星病

巡回調査で発生はみられなかった。

#### 2) うどんこ病

一部の巡回調査ほで発生がみられ、発生量は平年並～やや多かった。

#### 3) 腐らん病

胴・枝腐らんの目立つほ場が多くみられた。

#### 4) ハマキムシ類

一部の調査ほで花そう葉への寄生がみられたが、被害程度はほぼ平年並であった。

#### 5) ギンモンハモグリガ

巡回調査ほで被害はみられなかった。

#### 6) ケムシ類

巡回調査ほで被害はみられなかった。

#### 7) アブラムシ類

一部のほ場で発生がみらた。

### 4 な し

#### (1) 生育概況

開花期(盛)は平年より5～6日遅かった。

第1表 なしの生育状況(高森町：南信農業試験場)

品 種	区分	発芽期	展葉期	開花期			落花期	鱗片脱落期
				始	盛	終		
二十世紀	平年	4/ 2	4/16	4/19	4/22	4/26	4/29	4/10
	前年	3/31	4/ 9	4/15	4/17	4/24	4/28	4/ 8
	本年	<b>4/ 8</b>	<b>4/21</b>	<b>4/23</b>	<b>4/27</b>	<b>5/2</b>	<b>5/ 5</b>	<b>4/16</b>
幸 水	平年	4/ 4	4/19	4/21	4/24	4/28	5/ 2	4/10
	前年	3/31	4/11	4/16	4/18	4/23	4/28	4/ 7
	本年	<b>4/ 9</b>	<b>4/24</b>	<b>4/26</b>	<b>4/30</b>	<b>5/5</b>	<b>5/8</b>	<b>4/16</b>
豊 水	平年	3/31	4/14	4/18	4/21	4/25	4/29	4/ 8
	前年	3/29	4/ 9	4/14	4/16	4/22	4/25	4/ 4
	本年	<b>4/ 7</b>	<b>4/18</b>	<b>4/23</b>	<b>4/27</b>	<b>5/ 1</b>	<b>5/ 5</b>	<b>4/13</b>

平年値は1991年から2010年まで(20年間)の平均

#### 1) 黒斑病

県予察ほ、巡回調査ほでの発生はみられなかった。

第2表 越冬病斑上の分生子形成度(高森町：南信農業試験場)

半旬	4 月						5 月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	16.8	14.4	20.1	21.7	29.9	26.8	23.7	28.2	35.2	32.1	30.6	40.5
前年	16.7	—	13.3	10.0	35.0	38.3	20.0	18.3	41.7	31.7	23.3	58.3
<b>本年</b>	<b>23.3</b>	<b>20.0</b>	<b>25.0</b>	<b>28.6</b>	<b>26.7</b>	<b>16.7</b>	<b>16.7</b>	<b>23.3</b>				

値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態

平年は過去10年平均値

第3表 アルタナリア属菌の分生孢子捕捉数(高森町：南信農業試験場)

半旬	4 月						5 月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.9	0.7	0.2	2.3	6.4	1.2	2.1	3.7	5.4	5.6	6.0	11.0
前年	0	1	0	0	4	2	0	1	1	0	1	17
<b>本年</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>				

18mm×18mm当たりの孢子数(個) 平年は過去10年の平均値

第4表 果実の発病(南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布樹)

	5 月			6 月		
	5 日	15 日	25 日	5 日	15 日	25 日
平年	0.0	0.1	0.2	1.3	2.6	12.5
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0
<b>本年</b>	<b>0.0</b>					

平年は過去10年平均値

第5表 新梢葉の発病(南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布樹)

	5 月			6 月		
	5 日	15 日	25 日	5 日	15 日	25 日
平年	0.1	0.2	1.2	5.2	8.3	13.3
前年	0.0	0.0	0.7	5.8	5.6	8.2
<b>本年</b>	<b>0.0</b>					

平年は過去10年平均値

#### 2) 黒星病

#### (2) 病害虫の発生状況

県予察は、巡回調査ほでの発生はみられなかった。

第6表 黒星病子のう胞子飛散消長（高森町：南信農業試験場）

半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	10.9	130.4	860.7	1416.1	5674.1	5629.3	3189.8	5040.2	3500.5	1904.4	860.9	210.4
前年	27	4	188	630	2265	2307	1049	1523	136	14	0	3
本年	0	11	3	233	1	653	242	2702				

平年は過去10年平均値

第7表 果実の発病（高森町：南信農業試験場）

	4月		5月			6月	
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	—	9.6	26.9	36.1	39.1	42.5	53.4
前年	0.0	1.1	48.3	59.6	62.7	79.3	78.5
本年	—	0.0					

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

第8表 果そう葉の発病（高森町：南信農業試験場）

	4月		5月			6月	
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	—	1.1	3.9	21.2	38.4	50.9	58.0
前年	0.0	0.0	6.1	33.3	64.3	88.8	85.7
本年	0.0	0.0					

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

### 3) 赤星病

巡回調査ほでの発生はみられなかった。

### 4) 輪紋病

巡回調査ほでの発生はみられなかった。

### 5) ハマキムシ類

巡回調査ほでの寄生はみられなかった。

### 6) クワコナカイガラムシ

県予察ほにおける有効積算温度による越冬卵のふ化完了予測日は 5月22日、平年より1日早かった。

第9表 発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシ越冬卵のふ化完了予測日

（高森町：南信農業試験場・標高560m）

時 期	本年	平年	27年	26年	25年	24年
完了予測日	5/22	5/23	5/19	5/20	5/21	5/18

平年は過去10年の平均気温による予測日

### 7) ナシヒメシンクイ

県予察ほのフェロモントラップでは4月第2半旬には誘殺された。誘殺のピークは平年並となった。

第10表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.6	2.7	2.5	2.7	4.5	4.6	5.8	3.2	1.2	1.5	0.6	0.3
前年	1.5	9	0.5	2.5	6.5	0.5	1	0.5	0	0.5	0	0
本年	0	0.5	1.5	0	5.5	1.5	6.8	4.2				

平年は過去10年平均値

## 5

## も も

### (1) 生育概況

満開期はほぼ平年並で、昨年より6～8日遅かった。

第1表 ももの生育状況（須坂市：果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
白 鳳	平年	3/30	4/22	4/20	4/24	5/ 2
	前年	3/30	4/15	4/11	4/17	4/25
	本年	4/ 3	4/21	4/19	4/23	5/ 2
川中島白桃	平年	3/30	4/22	4/20	4/24	5/ 3
	前年	3/30	4/15	4/11	4/17	4/28
	本年	4/ 4	4/22	4/20	4/25	5/ 4
秀 峰	平年	3/28	4/21	4/17	4/22	4/30
	前年	3/22	4/14	4/ 8	4/14	4/23
	本年	4/ 2	4/20	4/16	4/21	4/30

平年値は1981年から2010年の平均値。「秀峰」は2008年から、「白鳳」は2009年から調査樹更新

### (2) 病虫害の発生状況

### 1) 灰星病

巡回調査で花腐れの発生はみられなかった。

### 2) セン孔細菌病

春型枝病斑が多くの園地でみられた。

### 3) モモハモグリガ

果樹試験場内フェロモントラップへの越冬世代成虫の誘殺状況は表2のとおり。巡回調査では、幼虫による寄生葉はみられなかった。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長(須坂市：果樹試験場)

月・半旬	4・1	4・2	4・3	4・4	4・5	4・6	5・1	5・2
平 年	0.6	1.3	9.9	53.2	46.3	15.4	40.6	10.1
前 年	0	0	2	0	5	0	0	0
本 年	0	4	13	14	2	1	0	2

平年値は2007～2016年の平均

### 4) ナシヒメシンクイ

巡回調査で芯折れの発生は認められなかった。

### 5) カメムシ類

巡回調査までは飛来は認められなかった。

## 6 ぶどう

### (1) 生育概況

発芽は平年より1日遅く、展葉は3日遅かった。

第1表 ぶどうの生育状況(須坂市：果樹試験場)

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
	平年	4/25	4/30	6/ 8	6/11	6/14
巨峰	前年	4/20	4/25	5/31	6/ 4	6/ 7
	本年	4/26	5/ 3			

平年値は1981～2010年の平均

## 7 野 菜

### (1) 生育概況

4月の気温は全般に平年並であったが、上旬と中旬は低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多く、降水量は平年に比べ全般に多かった。天候不順により露地栽培の葉野菜類の定植作業は遅れ気味であったが、生育は平年並

となった。

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) タマネギ病害

巡回調査では、べと病、白色疫病の発生はみられなかったが、上旬調査時に松本地区の連作ほ場の一部でタマネギ腐敗病がみられた。

#### 2) 施設野菜の病害

灰色かび病の発生は、上旬及び下旬調査ともみられなかった。

北信地域の調査ほ場では、きゅうりのうどんこ病が上旬及び下旬調査とも、多発生(発病株率)であった。

#### 3) アスパラガスの病害虫

上旬及び下旬とも茎枯病の発生は確認されなかった。

ジュウシホシクビナガハムシは巡回調査では、発生は確認されなかったが、一部ほ場で発生が認められた。

#### 4) きくの病害

南信地域の調査ほ場において、白さび病が上旬及び下旬調査とも微発生(発病葉率)であった。

#### 5) コナガ(アブラナ科野菜)

4月下旬に中信地域のキャベツの調査ほ場内において、成虫がみられたが、幼虫及び食害はみられなかった。

フェロモントラップによる誘殺調査では、野菜花き試験場(塩尻市)で4月第4半旬が初誘殺であった。(第1表)。野菜花き試験場佐久支場(小諸市)では4月第5半旬が初誘殺であった。

第1表 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長(塩尻市：野菜花き試験場)

月・半旬	本年	28年	27年	26年	平年
4・1	0	0	3	0	0.5
2	0	1	3	0	0.7
3	0	0	10	0	1.8
4	1	2	6	0	1.3
5	2	5	8	0	2.7
6	6	6	31	0	6.3

#### 6) アブラムシ類

南信及び中信地域の施設きゅうりの調査ほ場で上旬調査時に少発生(寄生株率)であった。下旬調査時には南信地域の調査ほ場では中発生(寄生株率)と

なったが、中信地域の調査ほ場では少発生（寄生株率）であった。  
南信地域のブロッコリーで下旬調査時に寄生がみられたところがあった。

#### 7) アザミウマ類

中信地域のきゅうりの調査ほ場では花への寄生がみられ、上旬及び下旬調査時に少発生（寄生株率）となった。

中信地域のたまねぎの調査ほ場では、幼～成虫の寄生は確認できなかったが、葉の食害痕がみられ、少発生（被害度）であった。

#### 8) オオタバコガ

野菜花き試験場（塩尻市）及び野菜花き試験場佐久支場（小諸市）のフェロモントラップ調査では誘殺されなかった。

第2表 フェロモントラップによるオオタバコガ成虫誘殺消長(塩尻市：野菜花き試験場)

月・半月	本年	28年	27年	26年	平年
4・1	0	0	1	0	0.1
2	0	0	0	0	0.0
3	0	0	0	0	0.0
4	0	0	0	0	0.0
5	0	0	0	1	0.2
6	0	0	0	0	0.0

#### 9) ヨトウガ類

野菜花き試験場（塩尻市）及び野菜花き試験場佐久支場（小諸市）のフェロモントラップ調査では誘殺されなかった。

#### 10) ハモグリバエ類

4月下旬に中信地域のレタスの調査ほ場内において、ナモグリバエのものとされる吸汁痕がみられた。

#### 11) ハダニ類

南信地域のきゅうりの調査ほ場でハダニ類が上旬調査時に中発生（寄生葉率）となったが、下旬調査時には発生はみられなかった。